

●将来への希望

○60

薩摩武士渡航記読後感 (H22/11/13 作)

(平起式 押韻は、下平声八「庚」である。)

光文社刊「薩摩スチューデント西へ」(林望著)
を読んで、郷土の大先輩の壮途に思いを馳せまし
た。進取の氣に富んでいたことに驚嘆です。

航英離薩曉風清

望恐去来万里行

忽恥井蛙迷欲醒

研鑽大実一新成

○57

祈雄飛 (H22/3/28 作)

(平起式 押韻は、平声五「微」である。)

先般、卒業以来初めて、母校防大の卒業式に参列
した。第五十四期生の卒業である。おりしも走水小
原台上にも春が訪れつつあった。凛々しい彼等の勇
姿に接し、己の往時に思いを馳せつつ彼等に幸多か
れと祈らざるを得ない。

走水爽気草芳菲

凛々張胸眼爛輝

任重前途逢苦難

強懷大志且雄飛